

## 第一陣フィリピンボランティア活動報告

フィリピンボランティア活動の報告をします。

記録：伊藤豊

日程：2019年11月4日～7日

場所：ルソン島 スービックシティ

全国の皆さんからお預かりした募金を渡しました！



左：現地の富田一也さんに募金を渡す。 右：銃で撃たれたトントン君の所にお見舞い。

11月4日 日本 → マニラ 移動 その後…マニラの大渋滞を抜けて19時トントン君、ミデル君をお見舞い。

昨年12月に人違いで首を銃で撃たれたトントン君は7月に全国の皆さんと韓国の美容師の皆さんに集めて頂いた114万円の募金で命が助かる率1%という状態からの大手術。手術中に一度心臓が止まったのですが…2分後に動き出すという奇跡の復活、この世に帰ってきました。今はまだ術後なので痩せて体力もない状態ですが日本の「トモダチ」の来訪に喜び笑顔で迎えて下さいました。

2019年ウッディチキンのボランティア活動の中で、トントン君の命を救うことが出来たのは誇るべき成果ではないかと思います。

貧しい家庭なので自力ではトントン君の手術費用なんて100年かかっても稼げない家庭。

みなさんの募金のお陰で命が救われました。

現地の富田さん夫妻をはじめ、トントン君のお母さんや家族(父は亡くなっていない)の喜んでいる笑顔を見ることが出来て心から本当に良かったなぁと実感しました。

11月5日



午前：フィリピン絆サロンでアエタ族の美容師さんにカラー技術の指導と近所の人達にボランティア Cut。



午後：トントン君の近所の人達にボランティア Cut。

この場所でのボランティア Cut には深い意味があります。

1 か月の収入が家族全体で 1 万円以下という貧しい人々が住むトントン君の村では、大勢の日本人が来てトントン君のお見舞いをしただけで「何か日本人からもらったにちがいない」と日本人が帰った後に「自分達にも貰ったものを少し分けてくれ」という人達が詰め寄せ何もあげるモノがなければ近所から村八分にされるので今回は昼間に近所の人達にボランティア Cut したうえでお菓子や配れるものは目の前で配りました。

ただ今回は大雨、フィリピンも温暖化の影響か異常気象で雨期乾季の時期がズレ始めているということで例年 11 月に行った時には猛暑だったのが気候は過ごしやすかったのですが雨で地面が粘土質なので足元が滑って美容師に皆さんはカットするのに足元が不安定な状態でやり難そうでした。



11月6日



午前：絆サロンの近くにある小学校でのボランティア Cut。

600 人の子供たちが通う小学校での初めてのボランティア活動。

あまりにも人数が多すぎて今回の第一陣だけではフィリピン人の希望者全員を施術することは出来ませんでした。

「次回また来てくださいねー！」と熱い要望。

「必ず来ますよー！」って帰ってきました。



午後：アエタ族の人達と他の民族の人達が差別なく生活をしている奇跡の村でのボランティア Cut。ここでも貧しい村の人達がたくさん集まって下さりまたもや全員を施術することは出来ませんでした。「また来るからね〜」って帰ってきました。

今回のフィリピンボランティア活動では、これまで皆さんの募金で命が助かった。

トントン君(首の手術)・マクマック君(心臓病の手術)・ぷーよ君(心臓病の手術)にも逢えました。それぞれが手術後の回復も良く元気になっていたのが安心し又、彼らの命を救う募金活動が出来た事が本当に善かったと思いました。ありがとうございます。感謝・合掌。